

## 執筆 者 紹 介

太田鈴子（おおた れいこ） 特任教授

▽『妻・母を演じる専業主婦―村上春樹『TVピープル』の女性たち―』（『学苑』762号）（『村上春樹スタディーズ2002-2003』所収 若草書房）▽『村上春樹作品における音楽』（『学苑』865号）▽『村上春樹の初期作品における無常―「八月の庵」の死生観―』（『学苑』867号）▽『村上春樹『風の歌を聴け』論―内面を語るまいとする自我―』（『学苑』879号）▽『村上春樹『色彩を持たない多崎つくると、彼の巡礼の年』―心から誰かを求められる素晴らしさ―』（『学苑』893号）

烏谷知子（からすだに ともこ） 教授

▽『上代文学の伝承と表現』（おうふう）▽『宇遅能和紀郎子伝承の考察―第四二番歌謡・第五二番歌謡を中心に―』（『学苑』915号）

久下裕利（くげ ひろとし） 名誉教授

▽『平安後期物語の研究』（新典社）▽『変容する物語』（新典社）▽『狭衣物語の人物と方法』（新典社）▽『源氏物語絵巻を読む―物語絵の視界』（笠間書院）▽『物語の廻廊―『源氏物語』からの挑発』（新典社）▽『王朝物語文学の研究』（武蔵野書院）▽『物語絵・歌仙絵を読む』（武蔵野書院）▽『源氏物語の記憶―時代との交差』（武蔵野書院）

齋藤 彰（さいとう あきら） 名誉教授

▽『徒然草の研究』（風間書房）▽『諷増抄』（新典社）▽『新編国歌大観』三・七・十巻（共著 角川書店）▽『大

歳時記』（共著 集英社）▽『日本古典への誘い 100選Ⅱ』（共著 東京書籍）

中西 裕（なかにし ゆたか） 非常勤講師

▽『人物書誌索引 二〇〇八―二〇一四』（編 日外アソシエーツ）▽『日本雑誌総目次要覧 二〇〇四―二〇一三』（編 日外アソシエーツ）▽『口語歌人青山霞村の伝記事実解明の試み』（『学苑』898号）▽『音楽を聴く津田左右吉―「音楽俗話」周辺管見』（『学苑』865号）▽『ホームズ翻訳への道―延原謙評伝』（日本古書通信社）

中村 友（なかもとら とも） 元非常勤講師・近代文化研究所客員研究員

▽『出奔小考―葛西善蔵の代作問題をめぐって―』（『日本文学研究資料叢書』所収 有精堂）▽『宇野浩二書簡二通』（『学苑』578号）▽『地獄変―対立の二重構造を読む―』（『アブローチ芥川龍之介』所収 明治書院）▽『芥川龍之介「龍」の周辺』（『日本文学研究資料大成Ⅱ』所収 国書刊行会）▽『沈黙のあなたへあなたへの人へに関する覚え書き』（『新しい作品論へへ、新しい教材論へへ5』所収 右文書院）

笛木美佳（ふえき みか） 准教授

▽『遠藤周作「深い河」論―グレアム・グリーン「燃えつきた人間」の受容について』（『学苑』915号）▽『過去から現代への箴言―遠藤周作「わたしが・棄てた・女」の今日性―』（『学苑』851号）▽『遠藤周作「深い河」論―「玉ねぎ」に秘められたもの』（『遠藤周作研究』3号）▽『「深い河」後の遠藤文学―『女』を中心に』（『キリスト教文学

研究』27号）▽『キャラクターの円環―森田ミツをめぐって―』（柘植光彦編『遠藤周作 挑発する作家』所収 至文堂）

元吉 進（もとよし すずむ） 教授

▽『源氏物語作中人物事典』（共編 東京堂出版）▽『源氏物語の鑑賞と基礎知識 14（若菜上 後半）』（共編 至文堂）▽『源氏物語の鑑賞と基礎知識 33（薄雲・朝顔）』（共編 至文堂）▽『更級日記の「ちちぶの山」について―父と娘の東国―』（『学苑』891号）▽『「更級日記」の「おきながといふ人」をめぐって―孝標女の父祖意識―』（『学苑』915号）

山田夏樹（やまだ なつき） 専任講師

▽『文学研究から現代日本の批評を考える―批評・小説・ポップカルチャーをめぐって』（共著 ひつじ書房）▽『ヘヤミ市』文化論（共著 ひつじ書房）▽『石ノ森章太郎論』（青弓社）▽『ロボットと（日本）―近現代文学、戦後マンガにおける人工的身体の表象分析』（立教大学出版会）▽『三島由紀夫「鏡子の家」における現在性―「時代の壁」の解体』（『文学・語学』216号）

吉田昌志（よしだ まさし） 教授

▽『泉鏡花「美と永遠」の探究者』（日本放送出版協会）▽『新日本古典文学大系明治編・泉鏡花集』（共編著 岩波書店）▽『新編泉鏡花集』（共編著 岩波書店）▽『鏡花随筆集』（編著 岩波文庫）▽『泉鏡花素描』（和泉書院）